

消防だより

No.111

火の用心

Tokamachi Fire Department



令和7年2月5日



火災を防ぐ

～日々の防火対策が大切です～

放水
はじめ!!



火災は住宅などの物的財産だけでなく、自分や家族の命をも奪う恐ろしい災害です。また、これから春にかけては、たき火や野焼きが原因で起こる林野火災も多くなります。今回は、今一度火災の原因や防火対策について知り、日頃の火の用心につなげていただきたいと思います。

特集 火災を防ぐ



火災とは、何か燃えて起こる現象です。物が燃えるには**可燃性物質、酸素、熱源**の3つの要素が必要になります。これらは「**燃焼の3要素**」と呼ばれていますが、この3要素が連鎖的にかつ継続的に反応し、火は燃え広がっていきます。また、「人の意図に反して発生、拡大すること。放火も含む」、「消火の必要がある燃焼現象であること」、「消火するために消火施設等の道具を必要とすること」と法律で定められています。

実際にあった事例を踏まえて、防火対策につなげよう！

(事例2)

コンセントのさし込み口に湿気やほこりがたまり、トラッキング現象が発生したことにより出火

- プラグはしっかりと差し込む
- ほこりがたまらないよう定期的に掃除する

※**トラッキング現象**：プラグの間についたほこりが湿気を帯びることで電気回路を形成し、放電による火花が発生して出火する現象

(事例1)

たばこの吸殻をゴミ箱に捨てたことにより出火

火種は完全に消えますか？

- ポイ捨てせず灰皿へ
- 吸殻は灰皿へ置いた後、ためないようにする
- 水につけるなど完全に火種が消えたことを確認してから廃棄する

(事例4)

魚焼きグリルでアルミホイルを敷き使用したことにより出火

アルミホイルにたまった油が原因で発火する可能性が!!

- 離れるときは必ず火を消す
- グリル使用後は、焼き網等こまめに掃除する
- グリル内の汚れ防止のために、アルミホイルを敷かない

(事例3)

電子レンジで長時間「にんじく」を加熱したことにより出火

さつまいもや中華まんでも爆発的に燃焼する可能性が!!

- 加熱時はその場から離れない
- 加熱時間を長時間に設定しない
- 冷凍食品などは、包装の表示を確認してから加熱する

住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は正しく設置されていますか？住宅火災から死者をなくするため、2006年6月1日から設置が義務付けられています。また、適切な維持管理も大切です。10年を目安に交換しましょう。

熱感知器 煙感知器

火災が発生した場合は、周囲に知らせる・初期消火・119番通報・避難等を冷静に行うことが大切です。また、火災による煙や熱を感じて、早期に知らせる**住宅用火災警報器**を適切に設置しましょう。

1位 たき火。野焼き

- 出**火の原因は、火あそび・こたつ・ポイラーなど多くあります。当管内の主な原因は左のとおりです。
- 当管内の出火原因**
- 2位 電気機器
 - 3位 ストーブ (令和6年中)
 - 2位 こんろ
 - 3位 電気機器 (令和5年中)



屋外での廃棄物焼却は禁止されており、違反すると**罰則の対象**となります。

主な出火の原因は？

火災は一日に何件発生するの？

令和5年中、全国では3万8672件もの火災が発生しました。これは、平均すると1日当たり約106件、約14分に1件の火災が発生したことになります。

総死者数 1,503人 (令和5年中)

火の取扱い

火災の多くは、火の取扱い不注意や不始末によるものです。寝ながらのたばこやストーブの上で洗濯物を干す、こんろに火をつけたまま放置・忘れるなど防火意識の低い行動によって引き起こされています。

東京消防庁 ホームページ

救急

過去最高救急出動件数を更新!!

救急車の適正利用にご協力をお願いします

全国的に軽症者の搬送および救急車の不適切利用は依然として多い状況です。胸が激しく痛む、突然の激しい腹痛・頭痛、意識がないなど本当に救急車が必要な人のために、救急車の適正利用をお願いします。

当管内の救急出動件数 (R2~R6)	
R 2	2,910 件
R 3	3,131 件
R 4	3,573 件
R 5	3,524 件
R 6	3,679 件 (速報値)

電話相談 (18時~翌8時) 毎日

救急医療電話相談

対象：大人 (15歳以上)

#7119

小児救急医療電話相談

対象：15歳未満のお子さん

#8000

相談アプリ (24時間)

全国版救急受信アプリ 「Q助」



AI 救急相談アプリ

LINE で友達追加するだけ



救急車が来ない!!

どうしよう 困った!

緊急時に救急車が足りていません!!

救急車で搬送された人の約5割が軽症です!

救急車の適正利用とは?

本当に緊急を要する人のため、救急車の適正利用にご協力ください。

一般財団法人 全国消防協会

予防

地震時の火災対策に!

感震ブレーカーとは?

感震ブレーカーとは、大きな地震の揺れを感じた際に自宅内のブレーカーを自動で切ってくれる装置です。揺れに伴う電気機器からの出火や停電復旧後に発生する火災を未然に防ぐことができます。

感震ブレーカー簡易タイプ



バナネ式

地震の振動を感知すると、中のバナネの力でバンドが作動し、物理的にブレーカーをオフにします。



おもり玉式

地震の振動でおもりが落ち、つながったひもでブレーカーをオフにします。



感震ブレーカーは、消防防災分野において、有効に活用できると認められる推奨製品です。

住宅用火災警報器と併用し、地震時の火災を防ごう!!

タイプは他にも...

経産省リーフレット

熱画像装置

バックパネル

第42回危険業務従事者叙勲において「瑞宝双光章」の栄に浴された元消防次長の小林正明様より、熱画像装置と記者会見等の際に使用するバックパネルをご寄贈いただきました。地域の安心安全確保や消防広報を目的として、大切に使用させていただきます。職員一同、心から感謝申し上げます。

【伊藤】



寄贈式 令和6年6月27日 (前列中央：小林正明 様)

「消防用物品等を寄贈いただきました」

赤色灯

消防だより 火の用心

発行 十日町地域消防本部 千948-0007 新潟県十日町市四日町新田4-4-1番地

編集 総務課企画広報係 電話 025(757)0119 FAX 025(757)8499

ホームページ http://www.tokamachi-kouki.jp/ E-mail ttd119@tokamachi-kouki.jp